

文書（PDF）共有・電子捺印およびセキュリティ基本仕様書

1. システムの概要と基本フロー

本システム（INTEVE LINK）は、学校と実習施設（病院・医療機関・福祉施設等）の間で交わされる各種重要書類（実習指導依頼書、承諾書、各種案内等）の授受を、従来の郵送やFAXに代わりオンライン上で安全かつ迅速に完結させる高セキュリティ型のクラウドシステムです。

- **学校からの提示:**

学校側の管理基幹システム（FileMaker）より、正規の電子公印（学校印等）が自動付与された対象実習生の書類(PDF)を、暗号化されたクラウド環境へ安全にアップロード・提示します。

- **施設での確認・捺印（またはご署名）:**

施設様にて専用認証ログイン後、書類をオンライン上で閲覧・ダウンロードいただき、内容をご確認の上、必要に応じて画面上での電子署名または押印済みPDFの再アップロードを行っていただきます。

- **施設からの返送:**

押印済みのPDFをシステムへ再アップロードいただきます。

- **学校での受理:**

施設様での完了データは即座に学校側の基幹システムへ同期され、双方の書類授受がリアルタイムに完了します。

2. セキュリティ保持の構造（5重の安全対策）

一般的なWebサイトへのファイル公開やメール添付とは異なり、医療・教育機関に求められる厳格なコンプライアンス基準に準拠した多層的なセキュリティ対策を講じています。

① 通信およびストレージの完全暗号化

- **通信の保護:** 全ての通信は TLS 1.3 / SSL による高強度暗号化通信を行い、第三者による盗聴・改ざんを遮断します。
- **保管時の保護:** クラウドストレージ（Supabase Storage / 東京リージョン）上のデータは、AES-256規格により保存時暗号化（At-Rest Encryption）を実施しています。

② 厳格なアクセス権限管理（RLS：行レベルセキュリティ）

- **データベースレベルのアクセス制御ポリシー（Row Level Security）**により、該当する学校・施設の正規アカウントのみにアクセスを制限。外部検索エンジンへの露出や、他施設からの不正閲覧を構造的に遮断します。

③ 電子公印（学校印等）の漏洩・悪用防止策

- **権限管理:** 電子印影の付与・発行権限は、学校側の厳格なアクセス権セット（役職制限）によって管理されています。
- **抽出・二次利用の禁止:** 発行されるPDFにはコンテンツ保護・編集制限（AES-128/256暗号化）が施されており、画像ソフトウェア等による印影データの切り抜きや二次利用を防止します。

④ ファイル自体の保護（PDF暗号化技術の活用）

- 必要に応じて閲覧パスワード設定や、印刷・テキストコピー・編集の制限機能を付与した高セキュリティPDFの出力に対応しています。

⑤ 操作ログの記録（トレーサビリティの確保）

- 発行・押印ログ: 学校側での公印押印実行者・日時のログを自動記録します。
- アクセス・授受ログ: 施設様側での「閲覧（いつ開いたか）」「ダウンロード」「アップロード・署名」の全操作履歴とタイムスタンプを自動保存し、紙やFAXのような「届いていない・紛失した」といった追跡不能リスクを排除します。

3. オンライン化による安全性と導入メリット

① 第三者非公開の専用通信経路による安全確保

- 不特定多数へ公開されるWebページとは異なり、当事者（該当の学校・該当の施設）のみが相互に通信できる完全閉域型のデジタル環境です。

② 郵送事故・誤送信・原本紛失リスクの根本的排除

- 普通郵便における不達・遅延・誤配送や、FAX誤送信による個人情報漏洩リスクを物理的にゼロにします。また、万が一の誤送信時も、クラウド上のアクセス権限を即座に無効化（閲覧停止）することが可能です。

③ 文書の真正性とコンプライアンス（法規対応）

- 文書の真正性（本物であることの証明）は、単なる印影画像ではなく「学校の公式システム（データベース）上に存在する不可逆な送信・発行レコード」によって担保されます。全操作ログが客観的に保持されるため、紙媒体よりも高い透明性とコンプライアンスを確保できます。

④ 事務手続き・発送コストの大幅な削減

- 印刷・角2封筒への封かん・切手貼り・郵便局持ち込みなどの一連の発送作業を全廃し、年間の発送人件費および通信費（郵送代）を大幅に削減すると同時に、双方の業務負担を飛躍的に軽減します。